

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	3-3 安全安心で快適な地域を創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 自然環境課	田中 順子
施策名	6 人と自然が共生する持続可能な地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 自然とふれあう公園施設づくり	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	84,255

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文) 高齢者や親子など誰でも安心して本県の豊かな自然とふれあい、学び、楽しむことができるユニバーサルデザインに配慮した公園施設を整備します。						(取組項目) i) 老朽化した施設の安全確保及び計画的更新 ii) 子どもや老人等誰でも利用しやすいユニバーサルデザインの推進				
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、自然公園利用者数は大幅に減少していたが、令和5年5月の5類移行に伴い、利用者数は着実に回復している。
	自然公園利用者数	目標値①		14,243千人	14,330千人	14,417千人	14,504千人	14,591千人	14,591千人 (R7)	
		実績値②	14,069 (R元)	7,743千人	9,556千人	10,880千人			進捗状況	
		達成率 ②／①		54%	66%	75%			遅れ	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 （令和6年度新規・補正事業は事業内容）	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和5年度事業の成果等
				R4実績	うち 一般財源	人件費 （参考）		主な指標	R4目標	R4実績	達成率	
				R5実績					R5目標	R5実績		
				R6計画					R6目標			
				事業実施の根拠法令等								
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業		他の評価 対象事業 （公共、研究等）				
所管課(室)名			事業対象									
取組項目 ii	○	1	自然公園施設補修費	6,352	5,152	9,566	●事業内容 既設の自然公園施設について、安全かつ快適な利用を図るため、維持補修を実施。 ●実施状況 既設の自然公園施設について、安全かつ快適な利用を図るため西海国立公園大浜園地休憩所などの維持補修を実施した。	【活動指標】	5	7	140%	●事業の成果 ・公園施設の不具合等が発見され次第速やかに補修を行うことにより、事故の防止に寄与した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・施設の安全性を確保することにより、豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくりに寄与した。
				12,806	5,806	10,340		施設修繕箇所数（箇所）	5	7	140%	
				28,377	6,377	8,948		5				
			自然公園法第3条			【成果指標】		0	0	100%		
			—					事故発生件数（件）	0	0	100%	
			自然環境課	○	—	—		県内の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	0			
取組項目 i		2	自然公園維持管理費	6,003	6,003	4,209	●事業内容 自然公園の適切な保護管理を図るための清掃補助金や指定管理施設の負担金等。 ●実施状況 金泉寺山小屋等の指定管理に係る負担金、県有施設数にかかる国有林野借上料及び雲仙等における清掃活動補助等を実施した。	【活動指標】	3	3	100%	●事業の成果 ・適切な維持管理により利用者の安全性・快適性が確保された。
				4,853	4,853	4,595		清掃活動箇所数（箇所）	3	3	100%	
				5,309	5,309	4,669		2				
			自然公園法第3条			【成果指標】		0	0	100%		
			—					管理上の苦情件数（件）	0	0	100%	
			自然環境課	○	—	○		県内の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	0			

取組項目 i	3	雲仙公園維持管理費	26,264	12,028	8,418	●事業内容 国立公園雲仙内県有施設等の維持管理を実施。 ●実施状況 園地の草刈や施設補修、公衆便所の清掃委託等を実施した。	【活動指標】 雲仙公園内公衆便所 清掃箇所数(箇所)	17	17	100%	●事業の成果 ・適切な維持管理により国立公園雲仙の利用者の 安全性・快適性が確保された。
			62,908	12,463	11,106			17	17	100%	
			29,848	15,947	11,282			17			
		—	長崎県自然公園内県営公園施設条例			国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	【成果指標】	0	0	100%	
		自然環境課	—	—	—		清掃活動箇所数(箇所)	0	0	100%	
	4	宝原道路維持管理費	3,093	3,093	3,827	●事業内容 公園道路宝原道路において道路利用者の安全を確保するために必要な修繕、維持工事を実施。 ●実施状況 落石防護柵の張替工を実施した。	【活動指標】 改修箇所数(箇所)	1	1	100%	●事業の成果 ・適切な維持工事により利用者の安全性が確保された。
			3,381	81	3,830			1	1	100%	
			3,449	149	3,891			1			
		—	自然公園法第3条			宝原道路利用者	【成果指標】	0	0	100%	
		自然環境課	○	—	—		管理上の苦情件数(件)	0	0	100%	
取組項目 ii	5	自然公園標識設置費	444	444	1,531	●事業内容 自然公園等の適正な保護管理と利用の増進を図るため案内標識等を整備。 ●実施状況 九州自然歩道において誘導標識を設置した。	【活動指標】 自然公園標識の計画的更新(箇所/年)	1	1	100%	●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染症の影響から着実に回復を図るため、誘導標識を整備し、適切な利用促進を図った。
			307	307	1,149			1	1	100%	
			31	31	1,945			1			
		—	自然公園法第3条			県内の優れた自然を享受する公園利用者	【成果指標】	14,330	9,555	66%	
		自然環境課	○	—	—		自然公園利用者数(千人)	14,417	10,880	75%	

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	老朽化した施設の安全確保及び計画的更新	
	●実績の検証及び解決すべき課題 老朽化した施設の破損等により公園利用者の快適で安全な公園施設利用を阻害することがないよう、それぞれの施設に応じた維持管理を適切に行うとともに、多様なニーズに対応した整備を各公園において計画的に実施する必要がある。	●課題解決に向けた方向性 今後も計画的に維持管理を行い、補修が発生した場合は早急な対応を図っていくとともに、各自然公園施設の健全性を的確に把握し、関係機関と連携を図りながら計画的かつ効果的に整備を実施する。
ii	子どもや老人等誰でも利用しやすいユニバーサルデザインの推進	
	●実績の検証及び解決すべき課題 公衆便所や園路のバリアフリー化や標識等の多言語化を行い、快適な公園利用を促進している。	●課題解決に向けた方向性 引き続き施設のユニバーサルデザイン化を進め、誰でも安心して快適に自然公園を楽しむことができるように整備等を行っていく必要がある。

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しがいない場合は「―」と記載	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 ii	○	1	自然公園施設補修費	―	⑤	老朽化した施設の損傷や不具合により利用者の安全が損なわれることがないよう、施設管理者と十分連携を図り、計画的に本事業を実施していく。	現状維持
			―				
			自然環境課				
取組項目 i		2	自然公園維持管理費	―	―	利用者の安全や利用の快適性を確保するため、今後も本事業を継続する。	現状維持
			―				
			自然環境課				
取組項目 i		3	雲仙公園維持管理費	―	―	雲仙公園利用者の安全や利用の快適性を確保するため、今後も本事業を継続する。	現状維持
			―				
			自然環境課				
取組項目 i		4	宝原道路維持管理費	―	―	宝原道路利用者の安全を確保するため、今後も本事業を継続する。	現状維持
			―				
			自然環境課				
取組項目 ii		5	自然公園標識設置費	―	―	利用の利便性や快適性を確保するため、計画的に本事業を実施していく。	現状維持
			―				
			自然環境課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改革要望)する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点